

送辞

富士山の雪解けも進み、やわらかな日差しとともに武田通りの桜の蕾がほころぶ季節となりました。今日、晴れて山梨大学を卒業・修了される皆様、ご卒業おめでとうございます。在学生一同、心よりお祝い申し上げます。

大学生活への期待を抱き、伝統ある山梨大学の門をくぐったその日から、交友関係を育み、様々な学びを得たことと思います。卒業の日を迎え、これまでの思い出が胸中を駆け巡り、懐かしく思われているのではないのでしょうか。山梨大学で得た数々のかけがえのない経験は皆様が新たな環境に身を置くための原動力になることと思われま

す。私たちは授業やサークル・部活動や進路相談など、あらゆる場面で皆様に助けていただきました。いつも優しく、温かく、私たちに寄り添ってくださった皆様が卒業・修了されることは寂しい思いもありますが、皆様のように上級生の在り方を後輩へと伝えられるよう精進していく所存です。

さて、昨年は、野球ではワールド・ベースボール・クラシック3大会ぶりの優勝、男子バレーボールや男子バスケットボールではパリオリンピック出場権獲得に日本中が沸きました。スポーツ観戦は、4年ぶりに声を出しての応援が解禁され、様々な「当たり前」が戻りつつあることを実感しています。

一方で、今年に入り、令和6年能登半島地震が発生しました。こうした予測不能な出来事は私たちの生活に大きな影響を及ぼします。振り返ってみると新型コロナウイルスの影響により、4年前からオンライン授業が主流となるなど、学生生活の様々な部分で「当たり前」を制限されてきたことと思います。先輩方の中には入学当初から、大学の講義のほとんどをパソコンの前で受けたという方もいらっしゃるでしょう。そうした状況にもどかしさを抱えながらも、屈することなく、粛々と努力し続ける先輩方を見て、私たちも自分自身のあるべき姿を見出すことができました。先輩方のように自分の目標に向かって邁進し、この山梨大学の伝統を繋いでいきたいと思

います。長かったコロナ禍が明け、「当たり前」が戻る中で社会の動きは活発になり、コロナ禍後の新たな時代が始まりました。それぞれの道に進む皆様には新たな時代へ適応することが求められ、その道は長く険しいものになるかもしれません。しかし、混乱の日々を乗り越えてきた皆様ならば、きっと柔軟に対応し歩み続けることができると信じております。美しく雄大な富士山のふもとにあるこの山梨大学で過ごした日々を、経験を、どうか忘れず、己の道を突き進んでいかれることを願っています。

最後になりますが、皆様のさらなるご活躍とご多幸を祈りつつ、在学生一同、心よりお祝いを申し上げ、送辞とさせていただきます。

令和6年3月22日
山梨大学 在学生代表
教育学部 学校教育課程 科学教育コース
田中 拓